AUDI A7 SPORTBACK 3.0TFSI QUATTRO × 2

アウディらしいスポーツバックのシェイプは、横浜のような大都会でもリアスタイリッシュに映える。

ABTのエアロキットを装着したA7スポーツバック。これを選んだのは、フェラーリF12ベルリネッタやアストンマーティンDB9ヴァンキッシュの記憶をエキゾチックカーのイメージに重ねつつ、

メイクオーバーによるA7SB最新スタイリング

アウディTT系、アウディA5系に続き、現行型モデルのファイのベースとして「第三極」になりつつあるのがA7スポーツバック。ABTのエアロキットが他のモデルより売れていたり（輸入元のラガーコーポレーションによる）、21インチのA7用ホイールの販売が良好だったり（US鍛造ホール輸入元による）と、ヒットの兆しが各方面で出て来ているそうなのだ。そして横浜・メイクオーバーでもA7スポーツバックが人気らしく、2種類のスタイリングを横浜みなとみらい21ロケに持ち込んでくれた。

ブラックのA7は前出ABTのエアロをベースに、グレーのA7はメイクオーバーのハウスブランドであるbalance itのカーボンスポイラーを基本に作り分けられたもの。トランクスポイラーだけ同車ともbalance itのカーボン製を使っているが、リップスポイラーの違いだけで、これほど雰囲気が違ってくるのか!? というのが、その仕上がりからはっきりとわかってくる。

「ちょっと強引にこじつけてしまえば、ブラックのA7はエキゾチックカー的なノリのスポーツ系に、グレーのA7はLUXURY的なノリのハイエンド系キャラクターに振った感じです」と、メイクオーバー代表の木内サンはさらっと言うが、自社でエアロを手掛けるショップなのに作り分けができるところ、そこにメイクオーバーのセンスが感じられる。

作り分けはフットエリアにも徹底していて、ホイールにはどちらもアプソリュートのウルトラCCV21インチを選んでいるが、ブラックのA7が9本ツインのSTNとストップテック6ピストンキャリパーの組み合わせに対して、グレーのA7が7本ツインのMSVとRS6純正流用のブレンボ6ピストンキャリパーを組み合わせる。

「ブラックのA7は前後ホイール＆タイヤサイズ違いのスタッガーフィットメント、グレーのA7はワフロの基本どおりに前後通しサイズとしています。エアロによるスタイリングの指向性の違いをタイヤ＆ホイールのセッティングにも生かしていますネ」と木内サン。コンセプトの違いを明確にしているからこその細かい芸当だ。

ちなみにマフラーのセレクトも、スポーツ系のA7ではABT製を、ハイエンド系のA7では静かな純正をそのまま生かすなど、キャラクターの違いを明確に打ち出している。

個別に見たのでは、違うエアロとホイールとブレーキを組んだだけの2台のA7スポーツバックだが、並べて比較してみると大きく違う作り。なるほど、A7スポーツバックがモディファイベースの第三極として勢力拡大していくのもうなずけるわけだ！

SPECIFICATIONS —— AUDI A7 SPORTBACK 3.0TFSI QUATTRO 2012

WHEEL absolute by AGIO>>STN Ultra CCV F:21x9.0 R:21x11.0 Finish:Brushed Smoke Disk + Chrome Rim
TIRE MICHELIN>>Pilot Super Sport F:255/30R21 R:305/25R21
SUSPENSION tac>>ver.3 Adjustable Coilover
BRAKE STOPTECH>>Trophy Kit F:6-piston Caliper+380mm Rotor
EXTERIOR ABT>>F Spoiler/S Skirt/R Skirt w/Muffler Tip, balance it>>Carbon R Wing, Smoke Painted Window Trims
INTERIOR Black Painted Interior Trims

SPECIFICATIONS —— AUDI A7 SPORTBACK 3.0TFSI QUATTRO 2011

WHEEL absolute by AGIO>>MSV Ultra CCV F:21x10.0 R:21x10.0 Finish:Brushed Disk + Chrome Rim
TIRE MICHELIN>>Pilot Super Sport F:295/25R21 R:235/25R21
SUSPENSION KW>>Ver.3 Adjustable Coilover
BRAKE AUDI>>RS6 Genuine F:8-piston Caliper+365mm Wave Rotor
EXTERIOR balance it>>Carbon F Spoiler/Carbon Trunk Spoiler, Carbon Pattern Decorated R Panel
INTERIOR Carbon Pattern Decorated Interior Trims

CALL>>MAKEOVER（メイクオーバー）[045]512-9350 www.make-over.jp

「A7SB作り分けのハイライト」

1 タイヤ＆ホイールを前後通しにするかスタッガーにするか
2 エアロをバランスイットにするかABTにするか
3 インテリアトリムの違いで雰囲気を変える

1.ホイールはどちらもアプソリュートの21インチ3ピース鍛造。ブレーキはブレンボベースにするか、それとも人気のストップテックにするかという違いがある。 2.ブラックのA7はbalance itのカーボントランクスポイラーとABTのリアスカート＆マフラーカッター、グレーのA7はbalance itのカーボンリップスポイラーと純正エアロン部をカーボン化したアレンジ。どちらも、3.高級車のホイールはディープコンケーブに限る。この写真からだけでもそれが理解できる筈です。空ヤンのカッコ良さに「ナンバーは撮影のために外しています」。 4.ブラックのA7ではインテリアのトリムをカーボンで和リフックしている。それほどの雰囲気ドタバブまで徹底的。一方、グレーではトリムにカーボン柄を使っている。

PHOTO>>TOSHIO NOGUCHI（のぐちとしお）